

会議概要

名 称	令和7年度第1期第4回新潟市公民館運営審議会	
日 時	令和8年3月3日（火）午前10時から正午	
場 所	クロスパルにいがた403講座室	
出席者 （敬称略）	委 員	相澤 雅子、阿部 正機、井上 経久、倉嶋 和見、佐藤 敦子、 登石 互、藤瀬 竜子、渡邊 正友、渡辺 恵（欠席：石田 晶子）
	アドバイザー	生涯学習推進課 高橋 宏昌
	事務局	中央公民館長、中央公民館職員、各区基幹公民館長
傍 聴	なし	
報 道	なし	
概 要	<p>1 開会</p> <p>2 中央公民館長あいさつ</p> <p>3 議長あいさつ</p> <p>4 報告・議題</p> <p>（1） 令和7年度実績・令和8年度予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事務局より説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央公民館 安産教室のチラシ、白根地区、新津地区・小須戸地区公民館公式 Instagram について報告 ● 審議委員の意見・質問 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年度の公民館事業の取組で、前年より「人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援」、「青少年の生き抜く力を育む機会の充実」の取組がかなり減っている理由を調べてもらいたい。【次回報告】 一方で、参加者を増やすためには事業数も大事ではあるが、一つ一つの事業を大切にに取り組む姿勢も維持してほしい。 ・ 国や県の補助金を活かした事業はあるか。もっとあっても良いと思う。 ・ 安産教室は事業の効果が見込めるので、成果の共有を全館で行うべき。 ・ Instagramをはじめ、IターンやUターンにつながるような地域を知ってもらう広報が必要。Instagramを職員以外の地域の方からも掲載してもらうなど地域を巻き込んだ広報展開をしてみたらどうか。 ・ 学校および地域教育コーディネーターと公民館の連携強化をより進めてほしい。 <p>（2） 「新潟市公民館事業の方向性」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土の歴史や文化の伝承、ICT時代のデジタル化支援など若い人と高齢者との交流を重視すべき。 ・ 公民館は、転入者や不登校・ひきこもりのこどもたち、高齢者といった多様な方々の心の拠り所となる居場所であり、誰一人取り残さない、ともに支えあう場となるよう事業を検討してほしい。 <p>（3） その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員による一年の振り返り <p>5 閉会</p>	